

Slovenia Monthly April 2023

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2023年5月11日



～4月の主なポイント～

内政：外国人法再改正案の再議決
外政：外務・欧州省へのサイバー攻撃
経済：過去30年で最低の失業率を記録
スポーツ：ポガチャル選手、フレッシュ・ワロンヌで優勝、3冠を達成

政治

【内政】

●航空会社補助金プログラム【4日】

4日、欧州委員会が、スロベニアの航空接続の強化を目的とした航空会社補助金プログラムを承認したことを受け、インフラ省は入札募集を開始した。これにより今後3年間で1,680万ユーロが利用できるようになる。優先路線には、ブリュッセル、スコピエ、プラハ、ベルリン、ウィーン、コペンハーゲン、アテネ、マドリッド、アムステルダム、ヘルシンキが含まれている。

●国家宇宙戦略の草案【13日】

経済・観光・スポーツ省が「SpaceTec Partners」社と共同で作成した2030年までのスロベニア宇宙戦略の草案が発表された。同戦略は、スロベニアが欧州宇宙機関(ESA)に本格的に加盟するための重要な一歩と位置づけられている。フランゲシュ同省副大臣は、「スロベニアは地球上では小さいが、宇宙では大きくなりたいと願っている。」と述べた。

●ロガルSDS議員によるプラットフォーム立ち上げ【14日】

2022年の大統領選挙で敗れたロガル民主党(SDS)議員(前外相)は、政治的に分断されすぎたスロベニアの未来にとって重要な課題において協力するためのプラットフォームの設立を発表した。同議員のサークルからの情報によると、同議員は夏前、5月

末か6月初旬に支持者たちと協力のためのプラットフォームを設立する予定である。

●裁判官、政府に対して賃上げを要請【17日】

17日、裁判官たちが政府に対して声明を発表し、裁判官の給与を引き上げ、公的部門における給与格差を解消するよう要請した。ゴロブ首相は「残念ながら、公共部門において、ある職業グループを他の職業と区別して扱うことはできない。」と述べ、現在進行中のすべての公共部門グループとの協議の一環として、裁判官について適切な解決策が見つかることを確信していると述べた。

●外国人法再改正案の再議決【18日】

18日、国民議会は、外国人法の再改正案を再可決した。同改正案について、3月24日及び27日に内務委員会での議論が行われ、同28日の本会議において可決したが、4月4日に国民評議会が拒否権を発動していた。4月18日、国民議会で再度投票が行われ、50対32で可決した。同改正によって、例外を除き、外国人労働者の同伴家族(成人)の滞在延長の際には、スロベニア語検定A1レベル(初心者レベル)が必要となった。同規定は本年4月27日に規定上は発効するものの、実際の導入までに18か月の猶予期間が設けられた。改正案発効から6か月以内に行われた滞在許可延長申請に際してはこれまでどおり特にスロベニア語の検定は必要ない。発効6

か月以降(18か月まで)の申請には、スロベニア語・スロベニア文化学習プログラムへの参加証明が必要となる予定。該当者はスロベニア語学習及び社会学習のためのコースに無料で参加できるようになる。政府は今後、外国人がスロベニア語を学習する機関、検定を受ける機関のネットワークの拡張を行う。学習・検定機関のリスト等の詳細はまだ発表されておらず、今後整備される予定。

●政府不信任案に基づく国民議会における討論【19日】

19日、国民議会において、民主党(SDS)が提出した政府不信任案に基づく討論が行われた。討論は14時間に及び、結論も不信任投票もなしで真夜中直前に終了した。ヤンシャSDS党首は、現政権は、発表された長い改革リストのうち、時系列を変更する以外何も実施していない、ゴロブ首相と各省の大臣が述べる事が異なっているといった批判を行った。一方、ゴロブ首相はエネルギー危機と生活費危機に対する政府の取り組みを高く自己評価し、SDSによる不信任案の文章は、その60%がスロベニア独立博物館についてであり、国民が真に必要な医療改革については2%しか触れられておらず、これがSDSの優先順位を物語っていると述べた。

●AmChamのイベント、外国人労働者の誘致の必要性を指摘【21日】

AmChamスロベニア主催の移民労働に関するディスカッションで、ファヨン外務大臣は、スロベニアは同分野でまだ大きな進歩を遂げる必要があると述べた。また、同外相は、スロベニアが外国人労働者にとって真に魅力的であるためには、もっと野心的である必要があるとし、「これは、政治、メディア、社会で使われるレトリックの問題でもある。外国人に対する固定観念は、依然として社会に根強く残っている。」と述べた。

●保健省、医療へのアクセスと質を向上させる戦略を発表【25日】

保健省は、スロベニア全土で同等の質の医療サービスを平等に受けられるようにするためのステップの一つとして、4月初めに採択した2023-2031年の医療の質と安全性に関する国家戦略を発表した。同省は、同戦略は、品質、安全性、アクセス性、効率性、平等性、患者重視の原則に基づいていると述べた。

【外政等】

●スロベニア・オーストリア内相会談【1日】

ポクルカル内務大臣は、プラニツァにおいてカルナ一境内務大臣と会談した。両大臣は、両国内務省間及び警察間の協力に焦点を当てた非公式な会談を行い、協力関係が良好であることを確認した。また、両大臣は、本年3月初めに導入された両国の警察によるパトロールは、協定に基づき円滑かつ妨害なく運営されていることを確認した。

●コヴァチェフスキ・北マケドニア首相のスロベニア訪問【3日】

3日、ゴロブ首相は、スロベニアを公式訪問したコヴァチェフスキ・北マケドニア首相とブルド・プリ・クラニューにおいて会談した。会談では、二国間関係の強化、北マケドニアのEU加盟に向けたスロベニアの継続的支援、ウクライナにおける紛争を踏まえた西バルカン情勢、経済協力について協議された。両首脳は、両国の友好的なパートナーシップ関係を反映した協力強化に関する共同宣言に署名した。コヴァチェフスキ首相は、同宣言の署名は「将来の協力のための道しるべ」であると述べた。また、ゴロブ首相は北マケドニア側に対し、スロベニアは北マケドニアのEU加盟を全面的に支援するというメッセージを発した。

●スロベニア・セルビア・インフラ相会談【3日】

ベシッチ・セルビア建設・運輸・インフラ大臣がスロベニアを訪問し、ブラトウシェク・インフラ大臣と会談した。両大臣は会談後の記者会見で、スロベニアとセルビアは、両国間の鉄道輸送に改善の余地があるとして、鉄道輸送の改善を目的としたタスクフォースを設立すると述べた。同タスクフォースにはオーストリア、クロアチア、イタリアにも参加を呼びかける予定。この試みは、現在、リュブリャナとベオグラードを結ぶ直通列車はないが、ザグレブ経由で両市を結ぶ夜行列車を再導入しようというものである。

●ピルツ＝ムサル大統領、モンテネグロの新大統領に祝辞【3日】

ピルツ＝ムサル大統領は、EU及び西バルカン諸国の多くの政治家とともに、2日の選挙でモンテネグロの新大統領に選ばれたミラトヴィッチ氏に祝辞を述べた。ピルツ＝ムサル大統領はツイッターで「モンテネグロと西バルカン地域の欧州の道を強化するための優れた協力と関与を期待している。」と述べた。

●スロベニアの対アフリカ外交【3日～14日】

ファヨン外相は、4月10日～12日にエチオピア、13日～14日にタンザニアを訪問し、現地の外相等と会談し、二国間関係及びスロベニアの安保理非常任理事国選挙立候補等について協議した。ファヨン外相

は、スロベニアは近くエチオピアに大使館を開館する予定である旨述べた。4月3日～7日の週には、クラコチャル＝ズパンチッチ議長がウガンダとルワンダ、ジュボガル外務副大臣がボツワナとナミビアを訪問し、それぞれカウンターパート他と会談した。会談においては二国間関係の強化とスロベニアの安保理非常任理事国選挙等について協議された。

●スロベニア、フィンランドのNATO加盟を歓迎【4日】

ゴロブ首相、ピルツ＝ムサル大統領及びファヨン外相はフィンランドのNATO加盟を歓迎した。ゴロブ首相とファヨン首相は、スウェーデンも近く加盟することを望んでいると表明した。ピルツ＝ムサル大統領は、「集団防衛は今日、さらに強固なものとなった。強化されたことで、個人的・社会的な脆弱性を引き起こす要素をより良く制限できると確信している。」とツイッター上で述べた。

●NATO外相会談【5日】

ファヨン外相は2日間のNATO外相会談を終え、ウクライナのNATO加盟の可能性に関して、スロベニアは常にドアはオープンであるとの立場を貫くと述べた。また、現在ウクライナのNATO加盟に関する議論は行われておらず、これはすぐには変わらないだろうと述べた。ファヨン外相は外相会談の中で、ウクライナへのロシアの侵攻で行われた残虐行為や恐ろしい犯罪の責任者を見つけ出すための責任の重要性を強調した。ファヨン外相は、NATO外相会談のサイドラインで、プリンケン米國務長官、オスマニ・北マケドニア外相、マフタ・ニュージーランド外相と会談した。

●スロベニア、反LGBT法をめぐるハンガリーに対するEUの措置に参加【6日】

政府は、ハンガリーの反LGBT法をめぐる欧州委員会の提訴に対する支持を決定した。多くのEU加盟国と欧州議会は、同法を差別的な法律とみなし、欧州司法裁判所への提訴の支持を表明した。労働・家族・社会問題省は「スロベニアは、人間の尊厳、自由、民主主義、平等、法の支配、少数民族の権利を含む人権といった、EUの基盤を形成する基本的価値観への確固たる支持を表明したい」と述べた。ハンガリーは2021年、メディア、広告、教育を対象に、出生時の性別とは別の性自認、性別変更及び18歳未満の同性愛を促進又は描写するコンテンツについて、多くの禁止事項や制限を制定した。欧州委員会は2022年夏、同法が性的指向や性自認を理由に人々を差別しているとして、ハンガリーを欧州司法裁判所に提訴することを決定した。

●外務・欧州省へのサイバー攻撃【7日、12日、26日】

7日、外務・欧州省は、同省がサイバー攻撃の標的となった旨発表した。ファヨン外相は、サイバー攻撃は「長期間行われていたようだ」と述べ、第三国からのシステムに対する攻撃であると述べた。12日の外交政策委員会の会合において、ジュボガル外務副大臣は、ロガルSDS議員（前外相）からの質問に対し、同攻撃の中国の関与については不明とし、攻撃の規模や背後にいる者を判断している最中であると述べた。26日、国民議会外交政策委員会は、非公開会合を開き、外務・欧州省へのサイバー攻撃について議論した。ニュースポータルサイトである「24ur.com」と「N1」は、同攻撃は少なくとも2022年3月から進行していたと報じている。4月中旬、「24ur.com」は、サイバー攻撃は中国とスロベニアの対中政策に関連する文書にのみ興味を持つ中国のハッカーによって行われたと報じた。同ウェブポータルによると、中国のサイバー攻撃の発端は、2022年1月にヤンシャ前首相が、スロベニアが台湾との関係をより緊密にすることを計画していることを示唆する発言をしたときに遡ると報じている。ヤンシャ前首相は、インド国営テレビDoordarshanに、スロベニアは台湾と代表事務所について協議中であると述べた。また同首相は、リトアニアと台湾が相互に代表事務所を開設することを決定したことに対する中国の対応についても批判的であった。

●オーストリアの国境管理延長意向に対する申し入れ【12日】

12日、ファヨン外相は、シャレンベルク・オーストリア外相に対し、オーストリアがスロベニアとの国境の管理を6か月延長するという措置について申し入れを行った。スロベニア外務省は、ファヨン外相がシャレンベルク・オーストリア外相との電話会談において、スロベニアは、特に観光シーズンが近づいていることも考慮し、国境管理の厳粛化を望んでいない旨伝達したと発表した。一方、オーストリアは既に、スロベニアとの国境管理を延長する意向をブリュッセルに通知している。オーストリア内務省は、国境管理の延長は、移民に関する新たな脅威とEUの治安状況によって正当化されるとし、2022年と比較して亡命申請数が増加していることを挙げた。

●外務省、ロシア人スパイの交換に関する協議を否定【12日】

ジュボガル外務副大臣は国民議会外交政策委員会において、外務省は、「スロベニアで逮捕されたロシアのスパイ容疑者2名の交換について交渉していないし、我々の代わりに交渉するよう同盟国に依頼していない。」と述べた。スロベニアに拘留されている

2名のスパイ容疑者の交換の可能性について同盟国との協議を否定し、同省はこのことを「外国メディア」を通じて知ったと述べた。

●シャレット国防相のブラジル訪問【12日】

シャレット国防大臣はブラジルを訪問し、José Múcio Monteiro国防大臣と会談した。両大臣は、防衛協力に関する協定と機密データの保護と転送に関する協定に署名した。防衛協力に関する協定は、特にスロベニアとブラジルの軍隊間の新しい協力方法を促進するものであり、研究開発を通じて防衛能力を開発することも目的としている。

●ポクルカル内相のイタリア訪問【13日】

ポクルカル内相は、ローマでピアンテドージ内相と会談した後、イタリアは移民の急増により国家非常事態を宣言したが、右はスロベニア国境の状況には影響しないと述べた。ピアンテドージ内相は、イタリアがスロベニア国境に規制を導入する計画はないと断言した。ポクルカル内務大臣は、「今のところ、イタリアとの協定はうまくいっている。共同パトロールにおける警察の協力は素晴らしいものである。」と述べた。一方、オーストリアがスロベニアとの国境で国境検問を延長することを決定したことについて、同措置は不必要であると述べた。

●ピルツ＝ムサル大統領のハンガリー訪問【19日】

19日、ピルツ＝ムサル大統領は、12月に就任して以来初めての外国訪問としてハンガリーを公式訪問し、ノヴァク・ハンガリー大統領に対し、ハンガリーはスロベニアが緊密で友好的な関係を維持したいと望んでいる隣国であると述べた。ピルツ＝ムサル大統領は、両国が視点を共有していない場合でも、善隣関係が果たす役割を強調した。両大統領は、二国間関係の他、西バルカン諸国のEU加盟の見通し、ウクライナにおける戦争、気候変動についても協議した。両者は良好な二国間関係を確認し、ピルツ＝ムサル大統領は、両国が定期的に政治対話を行っていることに満足を表明した。また両者は、スロベニアの国立大学図書館とハンガリーのセーチャー国立図書館が協力協定に署名したことを喜ばしいとした。ピルツ＝ムサル大統領は、ラースロー国会議長及びオルバーン首相とも会談した。

●ゴロブ首相とブルトン欧州委員の会談【20日】

ゴロブ首相は、欧州委員会ブルトン域内市場担当委員と会談し、原子力エネルギーはグリーン・トランスフォーメーションの一部であるという見解を共有した。ゴロブ首相は、原子力発電の資金はEUの資金から拠出されるべきであると考えている。ブルトン委員も、二酸化炭素を排出しない原子力がグリーン・トランス

フォーメーションに果たす役割と、同分野でのイノベーションの役割を指摘し、欧州委員会の試算を引用しつつ、2050年の気候変動目標を達成するためには、それまでにEUの原子力エネルギーの割合を少なくとも20%にする必要があると述べた。また、ゴロブ首相は、会談後、スロベニアのハイテク企業を支援することで国防費を増加させるべきであると述べた。ブルトン委員は、スロベニアは先進的な防衛技術の開発において重要な役割を果たすだろうと述べた。

●スロベニア、ウクライナ向け弾薬のEU共同調達に参加【20日】

シャレット国防大臣は、EUによるウクライナ向け弾薬共同購入について、欧州防衛庁(EDA)とのプロジェクトに署名し、政府は政令を発してこれを承認した。同協定は、本年初めにEU加盟国の国防大臣及び外務大臣によって合意され、これまでにEU加盟国23か国とノルウェーが署名している。

●第12回アフリカデーの開催【20日、21日】

4月20日及び21日、スロベニア政府はブルド・プリクラニユにおいて第12回アフリカデーを開催した。第12回アフリカデー国際会議は、「アフリカとヨーロッパ：未来のための気候安全保障—グローバルな課題、地域の行動」とのテーマで、スロベニア外務省主催、ブレッド戦略フォーラム、英チャタムハウス、欧州委員会との協力によって開催された。50か国(うちアフリカ24か国)から約350人が参加し、過去最多参加者数を記録した。

ファヨン外相は、テンボ・マラウイ外相、ビルタルワンダ外相、ソアレシュ・カーボベルデ外相及びドウルカマル・コモロ外相とともに、リーダーズパネルに登壇した。続いて、気候変動に対する取組みにおける国連安保理の役割についてのパネルディスカッションが行われた。会議のサイドラインで、ファヨン外相は、リーダーズパネルに参加した各国外相とそれぞれ二国間会談を行った。

●クラコチャル＝ズパンチッチ国民議会議長、国際政治における女性の活躍を促す【23日】

23日、クラコチャル＝ズパンチッチ国民議会議長は、欧州連合議会議長会議(EUSC)の開始を前にプラハで開かれたEU議会女性議長会議で演説し、スロベニアの外交政策の長期的目標は、国際政治における女性の地位向上であると述べた。スロベニアでは初めて大統領、議長、外相ポストに女性が就いており、この分野で大きな進歩を遂げていると付け加えた。

●ピルツ＝ムサル大統領のオーストリア訪問【24日】

24日、ピルツ＝ムサル大統領は、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領の招待を受け、オーストリアを公式訪問した。両大統領は主に地域情勢、国際情勢、気候変動、ウクライナにおける戦争について協議し、オーストリアにおけるスロベニア少数民族に特に注意を払い、夏までに両国がシェンゲン協定内の国境を管理するための解決策を見つけることへの期待を表明した。ファン・デア・ベレン大統領は、この訪問を欧州の善隣関係の精神に則った誠実な会合であると特徴づけた。オーストリアはスロベニアにとって4番目に重要な貿易パートナーであり、スロベニアへの投資では1位、サービス貿易では2位、観光客数は3位となっている。ファン・デア・ベレン大統領は、オーストリアに住む1万9千人ものスロベニア人と、毎日国境を越えて通勤する2万6千人ものスロベニア人について指摘した。その文脈で、両大統領は、シェンゲン協定とそれに伴う人の自由な移動がEUの創設価値の一つであることを強調し、両国が夏までに国境管理問題の解決策を見出すことに期待を表明した。

●スロベニア・クロアチア・唄による外相会談【25日】

25日、ファヨン外務・欧州大臣は、リエカで開催されたスロベニア、クロアチア及びオーストリアの三か国外相会談に出席した。ファヨン大臣は、会議を主催したグルリッチ＝ラドマン・クロアチア外務欧州大臣及びシャレンベルク唄欧州・国際担当大臣とともに、国家間の協力を深める可能性や共通の課題について議論した。ファヨン外相は、不法移民に対処するため解決策は、EUレベルで見つけなければならないと述べ、西バルカン諸国を含む移民の出身国や通過国への投資と協力の拡大を提唱した。また、EUの外部国境における欧州国境警備機構(Frontex)の役割を強化し、シャンゲン内国境管理の廃止又は「我々が知っているシェンゲン」の復活を訴えた。同外相は、夏前に、人々がクロアチアやオーストリアにできるだけ自由に、制限なく旅行できるようにしたい旨述べた。

●ウクライナへの装甲車供与【26日】

26日、民間放送局POP TVは、スロベニアが6輪軽装甲兵員輸送車(APC)20台をウクライナに輸送したと報じた。スロベニアはすでに戦車、榴弾砲、歩兵車、その他の装備を寄付しており、秘密裏に完了した同装甲車の輸送は最新の武器輸送となる。APCは、主に兵員輸送用に設計されており、40mm機関砲と12.7mm重機関銃で武装されている。POP TVによると、同装甲車は20年以上スロベニア軍で使用されていたものであり、1990年代にスロベニアの企業がオーストリアの「Steyr-Daimler-Puch Spezialfahrzeuge」社(現在は米国の防衛関連企業

「General Dynamics European Land Systems」社の一部)のライセンスを受けて製造したものである。

経済

【エネルギー関連】

●電気・ガス価格の上限規制を2023年末まで延長【13日】

政府は、一般家庭、中小企業消費者、保護対象利用者向けの電気とガスの規制小売価格、並びに中小企業向けの電力の規制小売価格を、いずれも年末まで延長した。規制価格は12月31日まで適用される。

【その他】

●2月の輸出が前年比28%増となり貿易黒字化【4日】

統計局によると、2月の輸出額は前年同月比28.2%増の45億5,000万ユーロ、輸入額は同1.4%増の42億5,000万ユーロに達した。2月の収支はプラス3億400万ユーロで、4か月ぶりの貿易黒字となり、輸出入比率は107.2%となった。スロベニアは過去2年間、エネルギー価格の上昇や輸出の減少、サプライチェーンの問題や自動車産業の低迷期などが原因で、貿易赤字を計上していた。

●3月の失業者総数、過去最低を記録【5日】

3月の登録失業者数は、前月比5.8%減、前年同月比16.9%減の50,327人と、過去最低となった。3月、雇用サービス機関に新たに登録した失業者は4,321人で、2月に比べ1.6%減少した。

●フィンランド航空の再就航【10日】

フィンランド航空が10日から3年ぶりにヘルシンキとリュブリャナの間を定期運航する。運航予定は月、火、木、土曜日。

●IMF、スロベニアの2023年の経済成長率予測を1.6%に引き下げ【11日】

国際通貨基金(IMF)は、最新の世界経済見通しで、スロベニアを含む世界の経済成長予測を引き下げた。同国のGDPは、本年1.6%増となると予測され、昨年秋の予測から0.2ポイント引き下げられ、2024年には2.1%増になると予測されている。本年のインフレ見通しも昨秋より厳しくなっており、2023年のスロベニアのインフレ率は5.1%から6.4%に上昇する見込み。また、2024年の平均インフレ率は4.5%に低下すると予測されている。

●ルカ・コペル社、今年は減収減益の見込み【14日】

スロベニア唯一の港湾を運営するルカ・コペル社は、2022年は過去最高の売上、利益、貨物処理量を記録したが、今年は売上高が7%、純利益が56%減少すると予想している。貨物処理量は横ばいとなる見込みである。昨年の売上高は3億1,350万ユーロ

に対して、今年は2億9,000万ユーロ程度になるとの予想。当期純利益は3,230万ユーロ減少する見込み。経営陣は、1株当たり2.5ユーロの配当金を提案し、これは昨年の2倍以上となり、配当金に3,500万ユーロが費やされる予定。

●メルカトル新CEOにクラマリッチ氏が就任【19日】

2017年から小売業者メルカトル社を率いてきたチズミッチCEOが解任され、トミスラウ・クラマリッチ取締役が新CEOに就任した旨発表された。同決定は、メルカトルの所有者であるクロアチアのフォルテノヴァグループの理事会が行ったもの。メルカトル社は、リズミッチ社長の解任は合意に基づくものであったと発表している。メルカトル社は、2022年12月からメルカトルのCOO(最高執行責任者)を務めていたクラマリッチ氏は、今後、フォルテノヴァグループの地域小売事業の費用対効果や収益性を高めることに焦点を当て、同社全体の運営と事業変革の責任を負うことになる」と述べている。

●2月の平均給与は名目で10.7%増加【24日】

統計局によると、2月のスロベニアの平均給与額は2,132.58ユーロで、月次比較では名目10.7%、実質1.3%の増加となり、平均手取り額は1,391.65ユーロで名目0.5%、実質1.3%の減少となった。年間レベルでは、平均給与額は民間部門と公的部門でそれぞれ11.3%と9.5%増加した。

●コペル〜ディヴァチャ間第2鉄道:単独入札が再び却下される【26日】

コペルとディヴァチャを結ぶ鉄道路線及びトンネルの建設に関する再度の入札において、同プロジェクトを管理する国営企業2TDKは、入札額が利用可能な資金を上回るという理由で唯一の入札を再び拒否した。鉄道建設会社リュブリャナが率いるコンソーシアムの入札額は、2億770万ユーロだった。なお、2022年4月に入札対象契約の金額は1億4,220万ユーロを上限とするとの説明がなされている。

治安

●強盗事件【10日】

10日、コチェウイエ市において、車に乗車していた男性が3名の男から暴行、脅迫を受け、現金を奪われる強盗事件が発生した。犯人らは車両で逃走し、被害者の男性は負傷している。

●第1四半期、不法移民が4倍に増加【20日】

警察は、本年1～3月に不法入国した移民を8, 133件記録し、昨年同期の4倍以上となった。多くの移民は、アフガニスタン、モロッコ、ロシア、キューバが出身国となっている。7, 628人の移民が国際保護を申請する意思を表明したが、実際に申請されたのは1, 400人であり、これは昨年第1四半期より少なかった。

●強盗事件【27日】

27日、リュブリャナのティヴォリ公園で、4人組の男が被害者に近づき、ナイフで脅して現金を要求した。犯人らは、現金約350ユーロを奪い、現場から逃走した。

社会・文化・スポーツ

【スポーツ】

●ポガチャル選手、フレッシュ・ワロンヌで優勝、3冠を達成【19日】

タデイ・ポガチャル選手(自転車競技)は、フレッシュ・ワロンヌ・レースを制し、アルデンヌ3大クラシックすべてで勝利した史上7人目のライダーとなる歴史的偉業を達成した。ポガチャル選手は、4日前のアムステルゴールドと昨年のリエージュ・バスターニュ・リエージュで優勝しており、今年で12勝を挙げている。

●ポガチャル選手転倒、レースを棄権【23日】

ポガチャル選手は、ベルギーで開催されたリエージュ・バスターニュ・リエージュのレース開始から84キロメートル地点付近で転倒、左手首を負傷した。同選手の所属するUAEチーム・エミレーツによると、ポガチャル選手は左手首の骨を2本骨折、手術を受けなければならないとのこと。今回の転倒が、7月1日に開催される今季のメインレース「ツール・ド・フランス」に向けての準備にどのような影響を与えるかはまだ明らかになっていない。

【生活・科学技術・その他】

●応急処置のスペシャリストがウーマン・オブ・ザ・イヤーに選出【7日】

女性誌「Onaplus」は、この1年間に地域の柱となり、模範となった10人の女性の中から、医師のエヴァ・ポガチャル氏を「Ona 365ウーマン・オブ・ザ・イヤー」賞の受賞者に選出した。彼女は麻酔学と蘇生法の専門家であると同時に山岳救助隊員でもあり、スロベニア赤十字のファーストエイドセンターの代表を務めている。

●Hiša Franko、欧州のベストグルメゲッタウェイに選出【8日】

ナショナルジオグラフィックは、スロベニアの独学シェフ、アナ・ロシュのミシュラン星付きレストランHiša Frankoを、欧州のベストグルメゲッタウェイに選出した。このリストでは、23のレストランが紹介され、提供する料理と周辺の観光スポットに焦点が当てられている。ナショナルジオグラフィックでは、「Hiša Frankoはミシュランの星を獲得したスロベニア初のレストランであり、スロベニアを食の地図に載せた」と述べた。また、Hiša Frankoがあるソチャ渓谷は、ハイキング、ラフティング、釣り、マウンテンバイクが楽しめる場所として紹介されており、南に1時間ほどドライブすれば、最高のワイナリーがあるヴィパヴァ渓谷があると勧めている。

●子ども議会、悪化するメンタルヘルスの状況への取り組みを要請【11日】

毎年恒例の「子ども議会」は、子どもや青少年のメンタルヘルスを取り上げ、子どもや教師、保護者の間でこのテーマに関する教育や啓発を強化するよう呼びかけた。ゴロブ首相も出席した今回で33回目を迎える「子ども議会」では、小学生が主要な問題について討論し、新型コロナウイルス感染症の流行による精神衛生状況の悪化を指摘した。

●リュブリャナ大学、セルビア語コースを設置【12日】

リュブリャナ大学文学部は、セルビア語コースを開設した。ブルガリア語、チェコ語、クロアチア語、ポーランド語、ロシア語、スロバキア語と並んで、スラブ学科で受講できることになる。セルビア語は1919年にリュブリャナ大学で初めて教えられ、当時はセルボ・クロアチア語として学習されていた。

●エニグマが軍事博物館の新しい展示に加わる【13日】

ピウカの軍事史公園で、第二次世界大戦中にドイツ軍が使用した暗号装置「エニグマ」に関する展示が開始された。「エニグマ-戦争の謎の裏側」というタイトルで、アドリア海の沈没船から発見されたエニグマが展示の中心となっている。博物館長は「これは当公園の歴史上最大級の展示プロジェクトであり、スロベニアでこの歴史的に重要なテーマに光を当てたのは初めて」と述べた。暗号装置は敵の手に渡ることを防ぐために、あらゆる手法を使って隠されてきたことから、保存されているものは比較的少ない。今回公開されたものは、スロベニア現代史博物館の修復師を中心に保存修復作業が行われた装置である。

●欧州女子数学オリンピックがポルトロジュで開幕【14日】

世界56カ国から213名が参加する「欧州女子数学オリンピック」がポルトロジュで開幕した。スロベニアからは8名の女子生徒が参加、日本からは4名の生徒が出場した。最終結果は、スロベニア3位（銀メダル1名、前年37位）、日本は16位（金メダル1名、前年21位）であった。

●クランに電気バスと充電ステーション設置【16日】

クラン市は4月上旬、2023年末までに電気バス8台が市の公共交通機関に加わることから、エンジニアリング会社リコと電気バス充電ステーション8箇所の建設に関する契約を締結した。EUが資金提供する96万ユーロの本事業には、エネルギー貯蔵装置も含まれる。同自治体では、まもなく4基の急速充電ステーションが設置され、今秋までに残りの4基を設置する予定。

●アマゾンの新スパイテレビシリーズにボヴェツとコバリドが登場【28日】

スロベニアの2つの人気観光地、コバリドとボヴェツが、アマゾンプライムの全く新しいスパイスリラーシリーズ「Citadel」の撮影ロケ地となった。3億米ドルをかけたこのプロジェクトは、アマゾンオリジナルドラマ史上2番目に高額なシリーズで、スロベニア、イギリス、スペイン、モロッコ、米国で撮影されており、28日に最初の2エピソードが公開された。

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281又は8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp
Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当て、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧下さい。http://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_si/Zivljenje_na_Japonskem.html

【領事班からのお知らせ】

●パスポートのオンライン申請と申請手続きの一部変更

3月27日(月)から、パスポートの手続きの一部がオンラインで申請可能となっています。オンライン申請に際しては、在留届が「電子届出化」されている必要があり、在留届電子届出システム(ORR ネット)へのログイン後、スマートフォン(専用アプリ)またはパソコン(Webブラウザ)で海外旅券電子申請システムを利用して行っていただきます。また、3月27日から、パスポートの申請に必要な書類などが一部変更されています。詳しくは以下のリンク先をご確認ください。

当館 HP: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00740.html

●海外に住んでいる人が、外国にいながら国政選挙に投票できる制度を「在外選挙制度」といい、これによる投票を「在外投票」といいます。在外投票ができるのは、日本国籍を持つ18歳以上の有権者で、在外選挙人名簿に登録され、在外選挙人証を持っている人です。在外選挙人証の申請から受け取りまでには通常2か月程度の期間を要しますので、早めの申請を行ってください。

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。(※インターネットで提出をされると、変更届・帰国届もオンラインで手続きできるため、たいへん便利です。)

住所・連絡先の変更、同居家族の追加など、提出済み在留届の記載事項に変更が生じた場合は「変更届」を、帰国や当館管轄地域外へ転出する場合は「帰国・転出届」を必ずご提出ください。特に、当館からの重要な連絡が確実に皆様へ届くよう、Eメールアドレスや携帯電話番号の変更は速やかに届出をお願い致します。

【外務省オンライン在留届】: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

●当地での在留許可取得や在留許可延長手続きの際に必要な警察(犯罪経歴)証明については、申請から交付までに約2~3か月かかります。お手続きに必要な期間をあらかじめ考慮していただき、余裕を持って申請を行っていただくようお願いいたします。

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

本サイトでは、各国・地域での新型コロナウイルスの発生状況、新型コロナウイルス(日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限)等の情報を掲載しています。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することができます。ぜひご活用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

3. スロベニア国立公衆衛生局は、国内状況や感染予防の方法等について公開しています。

<https://www.nijz.si>

(主にスロベニア語)

4. スロベニア政府は、新型コロナウイルスに関する特設サイトを開設しています。コロナウイルスに関連した保健省の特設電話番号はこちらに掲載されています。

<https://www.gov.si/en/topics/coronavirus-disease-covid-19/>

5. 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～(総理官邸)

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

6. 新型コロナウイルス感染症に関する情報について(厚生労働省)https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

7. リュブリャナ空港ホームページ

<https://www.fraport-slovenija.si/en.html>

8. スロベニア政府の下記のツイッターアカウント等で、随時情報発信が行われておりますので、こちらをご確認ください。

●政府(英語):<https://twitter.com/govslovenia>

●政府(スロベニア語):<https://twitter.com/vladars>

(英語版と若干内容が異なります。)

●外務省:<https://twitter.com/mzrs>

(主にスロベニア語)

●保健省:<https://twitter.com/minzdravje>

(主にスロベニア語)

【広報文化班からのお知らせ】

●日本映画上映

5月から9月にかけて、小津監督作品および今村監督作品、合計4作品がリュブリャナ市の Kinodvor にて上映されます。

○5月16日(火)20時: 檜山節考(1983年、今村昌平監督)

○5月29日(月)19時: 神々の深き欲望(1968年、今村昌平監督)

○8月29日(火)20時半: お茶漬の味(1952年、小津安二郎監督)

○9月4日(月)19時: 東京物語(1953年、小津安二郎監督)

●第11回ジャパン・デー2023について

毎年恒例の日本祭である「ジャパン・デー」を昨年同様に開催する予定です。

実施予定日: 6月24日(土)11時～17時

開催場所: リュブリャナ市TR3ビル前広場及びTR3ビル屋内

●スロベニア語字幕付 Japan Video Topics 配信中

当館 YouTube チャンネルにおいて、日本の文化や技術を紹介する Japan Video Topics のスロベニア語字幕版(英語音声)を配信しております。

https://www.youtube.com/channel/UCQXCvXGd_HA8jI6NJ30mviw

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック!

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>